

数字：通巻頁数, ()内数字：号数

Nomade

骨を知らずして脊椎脊髄外科医は務まらない	高畑 雅彦	3(1)
好きこそものの上手なれ	伊東 清志	81(2)
日本の脊椎外科医は真面目？	大鳥 精司	163(3)
脊椎外科と医療経済	海渡 貴司	457(5)
整形外科病院での症例検討会	遠藤 俊毅	531(6)
黄金の左足	今井 富裕	609(7)
引っ越しからの贈り物	武者 芳朗	683(8)
中国との交流から見た日本	植山 和正	771(9)
物理学・国際救援・医療安全	山崎 隆志	859(10)
腰痛治療の手術成績向上への取り組み	山田 宏	935(11)
椎間孔狭窄にもっともっと目を向けよう	山崎 昭義	1031(12)

特 集

◆脊髄ニューロモデュレーションの現状◆

特集にあたって……………	高橋 敏行…………	13(1)
脊髄刺激療法—総論		
……………	久保田真由美・谷口 真…………	14(1)
慢性疼痛に対する頸髄の脊髄刺激療法		
……………	笹森 徹…………	21(1)
疼痛に対する脊髄刺激療法—胸腰髄留置法…………		
上利 崇・篠山 英道・重松 秀明		
高尾聡一郎・鈴木 健二……………		27(1)
四肢虚血に対する脊髄刺激療法……………		
立山 真吾・田中 信彦・池井佳奈子		
宇野 武司……………		35(1)
脳性痙縮に対する ITB 療法…………	内山 卓也…………	45(1)
脊髄性痙縮に対する ITB 療法		
……………	河野 修…………	53(1)
特発性過活動膀胱と神経因性下部尿路機能障害		
に対する仙骨神経刺激療法…………	関戸 哲利…………	59(1)
便失禁に対する仙骨神経刺激療法 (sacral neuromodulation : SNM) ……	山名 哲郎…………	65(1)

◆脊椎脊髄疾患と間違えられそうになった◆

症例・疾患

特集にあたって	園生 雅弘	89(2)
上肢遠位筋萎縮を呈するミオパチー	今井 富裕	90(2)
頸椎疾患との鑑別を要した上肢絞扼性神経障害の臨床例—徒手筋力テストと神経伝導検査を用いた診療の実際	長谷川和重	97(2)
慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー	飯島 正博・亀山 隆	107(2)
後根神経節炎と Sjögren 症候群	宮地 洋輔・園生 雅弘	115(2)
腕神経叢障害	野寺 裕之	123(2)
首下がり症候群	逸見 祥司	127(2)
筋萎縮性側索硬化症	福武 敏夫	135(2)
大脳皮質基底核変性症	神林 隆道・園生 雅弘	143(2)
ヒステリー性麻痺 (変換症/転換性障害)	園生 雅弘	149(2)

◆アスリートの脊椎・脊髄障害◆

—病態と早期復帰への工夫—

特集にあたって	谷 論	165(3)
スポーツ外傷による脊椎・脊髄損傷の頻度および受傷機転	末綱 太	166(3)
コンタクトコリジョンスポーツにおける一過性四肢麻痺とスポーツ復帰	月村 泰規	173(3)
アスリートの腰部障害の機序とその予防	金岡 恒治・阿久澤 弘・成田 崇矢	
	大久保 雄	181(3)
アスリートの腰下肢痛に対する画像診断—注意が必要な画像所見	加藤 欽志・紺野 慎一	189(3)
頸椎症性脊髄症・神経根症からのスポーツ復帰—ラグビー選手を中心に	天野 国明・坂根 正孝・金森 章弘	
	田中 利和・大西 信三・山崎 正志	199(3)
アスリートに対する MED システムを用いた頸		

椎内視鏡手術……………中川 幸洋………… 209(3)	術中脊髄機能モニタリング…………齋藤 貴徳………… 329(4)
頸椎病変に対する経皮内視鏡手術の可能性と将来展望……………	術中血管損傷に対する対応と対策—椎骨動脈損傷を中心に……………鑑 邦芳………… 335(4)
大森 一生・小野孝一郎・堀 岳史………… 219(3)	腰椎 pedicle screw の誤挿入とその対策……………
成長期腰椎分離症の早期スポーツ復帰への道筋……………	東野 恒作・前田 徹・合田有一郎
青木 保親・杉浦 史郎・大鳥 精司	眞鍋 裕昭・鶴尾 吉宏・西良 浩一………… 345(4)
高橋 和久・久保田 剛・西川 悟………… 225(3)	ナビゲーションシステムの留意点とその対策…
スポーツ選手の椎間板性腰痛に対する低侵襲治療……………眞鍋 裕昭・西良 浩一………… 233(3)	根尾 昌志・中矢 良治・中野 敦之………… 351(4)
スポーツ選手の腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下後方手術……………	脊髄血管内治療における合併症の予防と対策……………長内 俊也………… 359(4)
寺井 秀富・金田 国一・大嶺 俊充	
中村 博亮…………… 239(3)	

◆脊椎脊髄手術の安全性を高める予防と対策◆

特集にあたって……………田口 敏彦………… 257(4)

■第1章 総論

脊椎脊髄手術合併症の現況……………今城 靖明・田口 敏彦………… 260(4)
脊椎脊髄外科におけるリスクマネジメント上の課題—医療事故や偶発症を防止するための基本的考え方……………山崎 隆志………… 267(4)
新規手術手技の導入に対する制度とその対応……………岩崎 幹季………… 275(4)
医療問題報告システム, 医療事故調査制度について……………川崎志保理………… 279(4)

■第2章 各論

1. 術前
脊椎脊髄手術におけるインフォームドコンセント……………大川 淳………… 288(4)
手術患者に対する術前心理的評価法……………大谷 晃司………… 295(4)
周術期の薬剤管理……………山口 諒………… 303(4)
深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症のリスク評価, 予防, 対策……………富士 武史………… 311(4)
2. 術中
高齢者における脊椎脊髄手術の問題点とその対策……………時岡 孝光………… 316(4)
手術体位の工夫, 手術高位の誤認予防と対策……………宮崎 正志………… 323(4)

3. 術後

脊椎手術における SSI 対策—早期診断と早期治療……………
高橋 淳・池上 章太・二木 俊匡
大場 悠己・上原 将志・加藤 博之………… 366(4)
硬膜損傷・髄液漏の予防と対策……………
徳橋 泰明・上井 浩・間世田優文………… 371(4)
術後 C5 麻痺に対する予防と対策……………
小林 和克・今釜 史郎・安藤 圭
中島 宏彰・石黒 直樹…………… 377(4)
脊椎・脊髄手術における嘔吐と嚥下障害……………古阪 徹………… 383(4)

4. 各種疾患, 治療法について

透析患者における脊椎・脊髄疾患—問題点とその対策……………久野木順一・河村 直洋………… 390(4)
関節リウマチ頸椎病変の手術治療—問題点とその対応……………金山 修一………… 397(4)
アテトーゼ型脳性麻痺を伴う頸髄症の問題点とその対応……………中前 稔生・田中 信弘………… 407(4)
Parkinson 病患者の脊椎疾患—問題点とその対応……………渡辺 慶………… 413(4)
脊椎外傷 (交通事故, 労働災害) の問題点とその対策……………関根 拓未・佐藤 勝彦………… 419(4)
頸椎 instrumentation の合併症の予防と対策……………青山 正寛・高安 正和………… 425(4)
胸椎 instrumentation の合併症の予防と対策……………伊東 学・小甲 晃史………… 431(4)
腰椎 instrumentation の合併症の予防と対策……………山崎 昭義………… 441(4)

◆Neuralgic amyotrophy とは◆

特集にあたって……………亀山 隆………… 459(5)
神経痛性筋萎縮症の概念とその歴史的変遷—も

はや「腕神経叢ニューロパチー」ではない！	
……………園生 雅弘……………	460(5)
腕神経叢の臨床解剖……………	中野 隆…………… 467(5)
NA の症候と診断	
……………竹下 幸男・神田 隆……………	479(5)
神経痛性筋萎縮症の電気診断	
……………東原 真奈・園生 雅弘……………	485(5)
NA の画像診断—特に MR neurography による鑑別診断……………	
吉田 剛・末吉 健志・諏訪園秀吾……………	491(5)
NA の超音波診断	
……………野寺 裕之・高松 直子……………	499(5)
NA の治療—IVIg 療法を中心に……………	
森口 幸太・宮本 勝一・楠 進……………	503(5)
特発性前骨間神経麻痺と特発性後骨間神経麻痺	
……………越智 健介……………	507(5)

◆脊髄再生◆

特集にあたって……………	中村 雅也…………… 539(6)
急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子 (G-CSF) 神経保護療法—医師主導治験 (G-CSF-mediated SPinal cord Injury Recovery Induction Trial : G-SPIRIT 試験) ……………	
G-SPIRIT 研究グループ・國府田正雄	
大鳥 精司・山崎 正志・花岡 英紀……………	540(6)
HGF を用いた急性期脊髄損傷治療—治験開始までの道のりと今後の展望……………	
北村 和也・名越 慈人・辻 収彦	
渡辺 航太・福田健太郎・松本 守雄	
岡野 栄之・中村 雅也……………	545(6)
亜急性期脊髄損傷に対する骨髄間葉系幹細胞移植……………	
森田 智慶・佐々木祐典・本望 修	
山下 敏彦……………	553(6)
亜急性期脊髄損傷に対する iPS 細胞由来神経幹細胞移植……………	
名越 慈人・辻 収彦・岡野 栄之	
中村 雅也……………	557(6)
グリア瘢痕の病態と再生医療……………	
原 正光・岡田 誠司・中島 康晴……………	563(6)
慢性期グリア瘢痕の克服と細胞移植	
……………鈴木 秀典・寒竹 司……………	571(6)
慢性期と急性期での脊髄損傷における神経回路	

の再生……………	角家 健…………… 579(6)
脊髄損傷に対する再生リハビリテーション	
……………田代 祥一……………	589(6)
慢性期脊髄損傷患者における臨床現場での課題	
……………松本 聡子・須田 浩太……………	595(6)

◆脊椎脊髄外科におけるモニタリング◆

特集にあたって……………	金 彪…………… 621(7)
術中モニタリングのモダリティーについて—総論……………	齋藤 貴徳…………… 622(7)
脊柱変形矯正の手術のモニタリングにおける有用性とビットフォール	
……………吉田 剛・松山 幸弘……………	629(7)
SEP の記録手技と有用性—頸椎変性疾患における応用性……………	
今城 靖明・寒竹 司・田口 敏彦……………	635(7)
術中モニタリングの道具としてみた運動誘発電位 (MEP) の有用性について—MEP の神経生理・機能解剖の面からの考察	
……………谷口 真……………	641(7)
髄内腫瘍における MEP モニタリングの実際応用と限界……………	黒川 龍・金 彪…………… 647(7)
腰仙部潜在性二分脊椎手術における術中神経生理学的手技……………	師田 信人…………… 653(7)
末梢神経障害の手術におけるモニタリング……………	
森本大二郎・金 景成・宗方祐美子	
井須 豊彦・森田 明夫……………	663(7)

◆頸椎前方手術 Up To Date◆

特集にあたって……………	山崎 正志…………… 685(8)
頸椎前方アプローチにおける解剖……………	
相庭 温臣・望月 真人・門田 領	
山崎 正志……………	686(8)
頸椎前方除圧固定における合併症と対策—安全な周術期管理のために……………	
宮本 敬・近藤 祐一・増田 剛宏	
日置 暁・伏見 一成・野澤 聡	
岩井智守男・秋山 治彦・清水 克時……………	693(8)
Midline groove 法を用いた頸椎前方除圧固定術……………	
三原 久範・多々羅靖則・新村 高典	
関屋 辰洋・合田 篤史……………	702(8)
頸椎前方経椎体キーホール神経根減圧術	

……………高安 正和…………	709(8)
チタンコーティング PEEK ケージと多孔質 HAp/Col 人工骨を用いた頸椎前方椎体間固 定術……………	
松倉 遊・新井 嘉容・坂井顕一郎 鳥越 一郎・榊 経平・山田 剛史 小柳津卓哉・大川 淳……………	715(8)
チタンケージを用いた頸椎症、頸椎後縦靱帯骨 化症の手術……………水野 正喜…………	721(8)
頸椎前方アプローチによる脊髄髄外腫瘍の手術 適応と注意点……………	
高見 俊宏・内藤堅太郎・山縣 徹 川原 慎一・大畑 建治……………	729(8)
頸髄腹側の脊髄動静脈瘻に対する前方からの外 科治療……………飛驒 一利…………	735(8)
頸椎前方椎弓根スクリューを用いた頸椎前方除 圧固定術……………新梶 正明…………	741(8)
頸椎人工椎間板置換術……………吉井 俊貴…………	749(8)

◆ 画像診断の別の貌 ◆

◆ 一定量化と正常値のまとめ、適正使用と被曝 ◆

特集にあたって……………青木 茂樹…………	787(9)
単純 X 線写真…………坂野 友啓・松山 幸弘…………	788(9)
脊椎の画像評価—骨粗鬆症を中心に ……………星野 雅俊・中村 博亮…………	795(9)
椎間板—MRI を中心に……………	
中島 大輔・藤田 順之・畑 純一 松本 守雄・中村 雅也……………	803(9)
脊髄……………	
堀 正明・萩原 彰文・神谷 昂平 鶴島 康晃・福永 一星・鶴田 航平 青木 茂樹……………	811(9)
筋肉の測定と定量化—二重エネルギー X 線吸 収法 (DXA)、生体電気インピーダンス法 (BIA) ……………酒井 義人・松井 寛樹…………	819(9)
画像検査の適正使用に關しての潮流 ……………隈丸加奈子…………	825(9)
CT を中心とした患者の被曝について ……………井上 優介…………	831(9)
医療スタッフの被曝—管理側の観点から ……………赤羽 正章…………	837(9)
術者の被曝—術者の観点から……………	
船尾 陽生・磯貝 宜広・前田 祥宏	

笹生 豊・西山 誠・石井 賢…………	843(9)
--------------------	--------

◆ 歯突起後方偽腫瘍 ◆

特集にあたって……………高安 正和…………	869(10)
歯突起後方偽腫瘍—総論 ……………高見 正成・吉田 宗人…………	870(10)
歯突起後方非腫瘍性病変の画像診断 ……………柳下 章…………	879(10)
歯突起後方軟部組織肥厚に影響する因子 ……………東條慎次郎…………	887(10)
関節リウマチに伴う歯突起後方偽腫瘍の臨床… 鈴木 亨暢・堂園 将・中村 博亮…………	891(10)
歯突起後方偽腫瘍に対する後頭頸椎固定術 ……………飯塚 陽一・筑田 博隆…………	899(10)
非リウマチ性歯突起後方偽腫瘍に対する環軸椎 後方固定術……………	
内藤堅太郎・高見 俊宏・山縣 徹 大畑 建治……………	905(10)
歯突起後方偽腫瘍に対する後側方経硬膜摘出術 ……………青山 正寛・高安 正和…………	913(10)
歯突起後方偽腫瘍による脊髄症に対する手術加 療—環椎後弓切除術……………竹本 充…………	919(10)

◆ ハイテク機器を利用した最新の脊椎脊髄手術 ◆

特集にあたって……………根尾 昌志…………	937(11)
「O-arm」の最新の応用法……………	
金村 徳相・佐竹宏太郎・中島 宏彰 石川 喜資・大内田 隼・山口 英敏 世木 直喜・今釜 史郎……………	938(11)
ハイブリッド手術室における術中 CT ナビゲー ション下脊椎手術……………	
中矢 良治・中野 敦之・藤原 憲太 羽山 祥生・矢野 冬馬・根尾 昌志…………	953(11)
「ARTIS pheno」を導入したハイブリッド手術 室における脊椎脊髄手術……………	
大橋 洋輝・川村 大地・谷 論 村山 雄一……………	963(11)
脊椎手術用ミニロボットの精度……………	
藤城 高志・中矢 良治・福本 晋吾 根尾 昌志……………	969(11)
画像認識・処理技術の最近の脊椎手術への応用 ……………安倍雄一郎…………	976(11)
Augmented reality navigation の脊椎手術への	

応用……………	
梅林 大督・原 政人・橋本 直哉…………	985(11)
三次元積層造形技術によるチタン製椎弓根スクリュー挿入用ガイドテンプレートの開発と臨床応用……………	
竹本 充・大槻 文悟・藤林 俊介…………	993(11)
3次元ロッドベンダー「Bendini」の使用経験……………	
……………石原 昌幸・齋藤 貴徳…………	1001(11)
「PediGuard®」の使用経験……………	
由留部 崇・角谷賢一朗・宇野 耕吉	
黒田 良祐・西田康太郎……………	1007(11)
ICGビデオ血管造影の脊椎手術における有用性……………	
内藤堅太郎・高見 俊宏・山縣 徹	
大畑 建治……………	1013(11)

◆首下がり症候群◆

特集にあたって……………	松山 幸弘…………	1041(12)
錐体外路疾患による首下がり症候群—その病態と分類, 治療……………		
渡辺 宏久・坪井 崇・勝野 雅央		
祖父江 元……………		1042(12)
ALSおよび重症筋無力症による首下がり症候群—その病態と分類, 治療……………		
千葉 隆司・北國 圭一・園生 雅弘…………		1049(12)
首下がり症候群の手術適応とその評価方法……………		
……………吉田 剛・松山 幸弘…………		1055(12)
首下がり症候群の手術治療—胸椎・腰椎手術で治る首下がりとは?……………	海渡 貴司…………	1061(12)
首下がり症候群の矯正手術—病態による手術治療戦略……………		
石井 賢・船尾 陽生・磯貝 宜広		
前田 祥宏・笹生 豊・西山 誠…………		1067(12)
頸椎変形および頸椎変形矯正手術と立位全脊柱アライメントの関連性……………	水谷 潤…………	1073(12)

イラストレイテッド・サージェリー

胸椎後縦靱帯骨化症に対する後方除圧矯正固定術……………	
今釜 史郎・安藤 圭・小林 和克	
松山 幸弘……………	5(1)
脊髄ヘルニアに対する解離術……………	

……………辻 取彦・中村 雅也…………	83(2)
腰仙椎固定術における PES 法と S2 AIS の併用術……………	
加藤 貴志・谷戸 祥之・松川啓太郎	
朝妻 孝仁……………	533(6)
脊椎側方アプローチ手術の展開法—高位別のコツ ①中下位腰椎—後腹膜腔展開……………	
……………金村 徳相…………	611(7)
脊椎側方アプローチ手術の展開法—高位別のコツ ②胸腰椎移行部—経横隔膜展開, 胸椎—胸膜外展開……………	
……………金村 徳相…………	773(9)
頸髄砂時計腫を安全に全摘出するための前後合併手術—椎弓根をヒンジとした脊柱管拡大方法……………	
北村 和也・白石 建・青山 龍馬	
二宮 研・山根 淳一・海苔 聡	
鈴木 悟士・上田 誠司・福田健太郎…………	861(10)
化膿性脊椎炎に対する PED (経皮的内視鏡下椎間板切除術)……………	
安部 哲哉・船山 徹・三浦 紘世	
野口 裕史・國府田正雄・山崎 正志…………	1033(12)

書 評

「ニュースタンダード脳神経外科学 第4版」……………	阿部 弘…………	71(1)
「再生医療とリハビリテーション」……………		
……………名越 慈人…………		671(7)
「機能解剖で斬る神経系疾患 第2版」……………		
……………高橋 昭…………		851(9)
「MIST 手技における側方経路椎体間固定術 (LIF) 入門—OLIF・XLIF®を中心に」……………		
……………竹下 克志…………		1021(11)
「脊椎脊髄ハンドブック 第3版」……………		
……………松山 幸弘…………		1081(12)

特別対談

外科医にとって手術イラストを描く意義とは?—『Dr. BABA のメディカルイラストレーション講座』発刊に寄せて……………	
……………馬場 元毅・山崎 正志…………	755(8)